

8%増、4406億円

市場流通の14%に匹敵

6次産業や直売所のマーケットはまだ拡大している。農水省が2010年度から行っている「6次産業化総合調査」によると、13年度の全国の直売所における野菜・果実（キノコ類は除く）の販売額は、野菜が2889億4300万円（5・4%増）、果実が1516億8千万円（13・9%増）、合計4406億2300万円（8・2%増）となり、卸売市場流通（14年

円、果実1兆0459億円、合計3兆2101億円）の13・7%に匹敵。この割合は年々上昇している。同調査は、①農業経営体及び農協等による農産物の加工、農産物直売所及び農家レストラン、農業経営体による観光農園、農家民宿等の各事業（以下「農業生産関連事業」）②漁業経営体や漁協等による水産加工及び水産物直売所の事業（以下「漁業生産関連事業」）の

販売金額、従事者数等を調査したもの。

それによると、13年度の全国の農業生産関連事業による年間総販売金額は1兆8253億円となり、前年度比4・6%増加した。そのうち農業経営体の家族や運営主体の構成員と雇用者を合計した総従事者数は、46万8200人で前年度比3・8%増加した。

また同年度の漁業生産関連事業による年間総販売金額は2032億円で

9・6%、総従事者数は2万3000人で9・0%増加した。

農産物の販売金額を業態別にみると、農産物直売所は9026億円、農産物の加工は8407億円で、前年度比それぞれ6・8%、2・1%増加し、観光農園は378億円で、0・4%減少した。

農業生産関連事業における総従事者数を業態別にみると、農産物直売所は21万2600人で、前年度比1・1%減少。農産物の加工は17万7900人、観光農園は5万6900人で、それぞれ10・8%、1・7%増加した。

一方、水産物の販売額を業態別にみると、水産物の加工は1719億円、水産物直売所は313億円で、それぞれ11・5%、0・5%増加。総従事者数を業態別にみると、水産物の加工は1万7400人、水産物直売所は5600人で、それぞれ7・2%、15・0%増加した。

Ⅱ野菜2兆1642億

「漁業生産関連事業」の

円、0・4%減少した。

一方、水産物の販売額

増加した。